

製品名: CTNNBL1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86266**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:65 kDa; Observed MW:65 kDa

抗原情報

遺伝子名	CTNNBL1
別名	NAP; P14L; PP8304; C20orf33; dJ633O20.1
遺伝子 ID	56259
SwissProt ID	Q8WYA6
免疫原	ヒト CTNNBL1 の合成ペプチド

背景

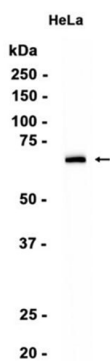
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、pre-mRNA 処理因子 19-細胞分裂周期 5 様タンパク質複合体 (PRP19-CDC5L) の構

成要素であり、pre-mRNA スプライシングを活性化し、スプライソソームの不可欠な構成要素です。コードされるタンパク質は核局在配列結合タンパク質でもあり、活性化誘導脱アミナーゼに結合し、抗体の多様化に重要です。この遺伝子は肥満の発症にも関連している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。この遺伝子の擬似遺伝子が X 染色体上に定義されています。[RefSeq 提供、2013 年 7 月]

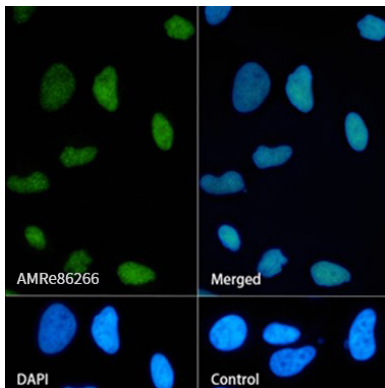
研究分野

-

画像データ



CTNNBL1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86266 で CTNNBL1 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。